

ワークシート⑦ ミニ・ビオトープで観察してみよう

生きものの気持ちになつて作ってみよう。君ならどんなすみかがいいかな？



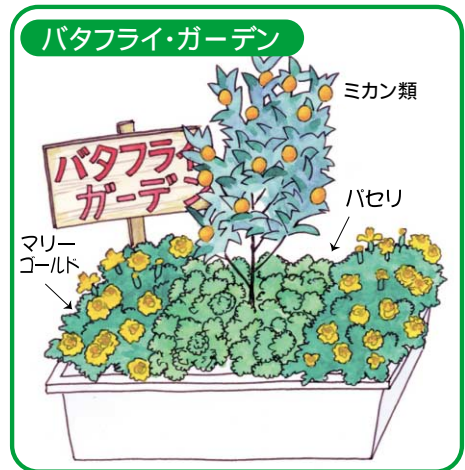
ビオトープというのは、「いろいろな野生生物がくらししている場所」のことで、みづかな自然を取りもどすためや、環境について学んだり、いこいの場所として、学校や公園、工場などにも作られるようになってきました。

そこで、ベランダでもできるミニ・ビオトープを作って、チョウやトンボなどを自分の家の庭などによびよせてみましょう。ごく小さなミニ・ビオトープでも、あちこちでできるとお互いにつながりあうネットワークとなり、生きもののすみ場所がまちの中にも広がっていくかもしれませんね。

バタフライ・ガーデンの作り方

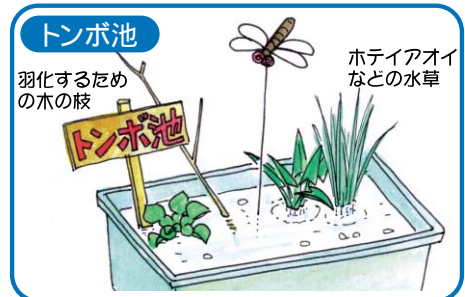
- よびよせたいチョウは何かな。その幼虫は何の葉っぱを食べるか調べよう。
- 1で決めた植物をコンテナに植えよう。
- チョウがよくミツをすう花も植えて、きれいなコンテナ・ガーデンにしよう。マリーゴールドや百日草なんかもいいよ。
- チョウがよく通りそうな所に置こう。

< 幼虫が食べる植物の例 >
 ナミアゲハ、クロアゲハ...サンショウ、みかん類
 キアゲハ.....ニンジン、パセリ
 モンシロチョウ.....キャベツ
 ツマグロヒヨウモン.....スミレ、パンジー
 ヤマトシジミ.....カタバミ



トンボ池の作り方

- コンテナに水を張って、水草などを入れる。底には砂利や泥を入れよう。
- 水面がトンボの目につきやすい場所に置こう。(真夏に水温が上がりすぎない場所がいいよ)
- 水が少なくなったら水を補給しよう。(水道水でもかまわないよ)
- ボウフラが気になるようだったら、メダカなどを入れてもいいよ。(でも、小さなヤゴはメダカに食べられる心配があるよ)
- 卵で冬越しをして春にヤゴになるものもいるよ。ゆっくり待ってね。



< 京都府に多いトンボの例 >

	成虫が見られる時期	産卵時期	冬越し
ウスバキトンボ	初夏～秋	初夏～秋	できない
シオカラトンボ	春～秋	春～秋	卵かヤゴ
アキアカネ	初夏～秋	秋	卵

バタフライ・ガーデンやトンボ池には、何がやってきたかな。ノートに記録を残しておこう。近くの公園など、別の場所でも生きもの調査をやって、比べてみよう。

< 例 >

(5)月(9)日 天気(晴れ) 場所(学校の中庭)

時刻	見つけた生きもの	とくちょう、何をしていたかなど
14:20	モンシロチョウ	花だんのヤグルマソウで3匹くらいミツをすっていた。
"	ハナゲモ	うす緑。体長7mm。かのように足を広げてデージーの花の上にあった。

観察をしよう

昆虫などの正しい名前を知るには、一度採集をして図鑑で確認しよう。(白いチョウでも、モンシロチョウとは限らないよ) チョウやトンボ以外にもいろいろな生きものがやってくるよ。それがミニ・ビオトープとどうかわっているか考えよう。友だちのミニ・ビオトープと比べてみよう。

* 京と地球のホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/kankyo>
 ビオトープづくりをお手伝いする情報がみられるよ。(TEL.075-414-4706)